

月刊田中けんの感想文を受け付けます。そこにはお名前と連絡先もお書きください。ご紹介は匿名にて行いますが、紙面の都合上、主旨を変えずに原文を短くすることがあります。ご了承の上、ご連絡をお待ちしております。

弁護士の無料法律相談を受付中
詳しくは、03-5662-7755までお電話を。

行政情報

指定管理者制度が導入されます。

(5月30日に全議員への説明会が行われました。その報告です。)

「指定管理者制度」とは、公の施設の管理に民間の能力を活用することです。それによって今までの行政ではできなかったサービスができるようになります。公務員を減らすことなどから、経費削減もされて税金の節約にもつながります。

江戸川区では、以下の施設で利用者サービスの向上と効率化が期待できます。

タワーホール船堀

総合文化センター

穂高荘

ホテルシーサイド江戸川

グリーンパレス

総合体育館

スポーツランド

・球壇上競技場

プールガーデン(第1・第2臨海球技場)

指定管理者の導入により改正する主な項目

(1) 弾力的な施設利用

- ① 今まで時間外だった、早朝・深夜などの利用ができます。
- ② 今までの午前・午後・夜間という区分から、単位時間で分割して利用ができます。
- ③ 穂高荘の利用者が区民でなくても認められます。
- ④ スポーツ施設における映画撮影やコンサートなどのような目的外使用ができます。
- ⑤ スポーツ施設における大会行事などで、売店を出せる区画を設定します。

(2) 利用料金制度の導入

- ① 指定管理者が区長の承認を得て、利用料金を設定します。なお、利用料金収入は指定管理者の収入になります。
- ② 回数券や年間パスポート等の発行ができます。

(3) 利用料金の主な改定事項

- ① 区外利用者の割増料金を規定する。
- ② 区外利用者が主流の施設において入場料等を徴収する場合、入場料収入の1割または利用料金の5割加算のいずれか高い額を割増する。
- ③ 時間外利用について、2割の範囲内で割増規定を設ける。

公共物の使命とは「まず使われること」だと、田中けんは考えます。通行料金ばかり高く、使われない東京湾横断道路のような高速道路などは、公共物の使命を果たしていません。

平成18年度から、江戸川区でも導入される指定管理者制度が、区内施設の有効利用や経費削減につながることを期待します。これからも更なる行政のスリム化をめざします。



道路脇にあるとても広い緑地



メキシコのバス。たまたまこのバスは綺麗だが、通常は向かって左側のフロントガラスにデカデカと白いペンキで「ROO」という路線の表示がされている。路線ならば、バス停以外の場所でも、気軽に乗り降りができる。



中央分離帯が、当たり前のように緑地帯。車優先社会だと歩行者は、車に注意しながら、走って車道を横切るのが一般的。



メキシコ交通事情

2005年に、メキシコへ行く機会があった。諸外国へ行くと毎度思うことだが、東京は本当に過密が激しい。世界のどの都市を探しても、東京以上に過密が激しい都市は無いだろう。例外としては、パリが人口密度2万人/km²を超える。この過密ぶりは、東京の中でもワーストクラスとなる中野区や豊島区に匹敵する。

しかし、パリの場合はその面積が23区よりもずっと狭く、郊外には広い森林地帯を抱えているのだから、単純に過密がひどいとも言い切れない。

さて、メキシコの交通事情である。今回訪れたのは、メキシコ極東部に位置するカンクンという名の都市である。手元の資料によれば、人口は60万人とのことだ。江戸川区と人口規模はほぼ同じだ。

しかし、交通事情は大きく異なっている。まず町には鉄道が無い。庶民の日常的な脚は、バスか乗用車となる。ちなみに町中で自転車を見かけることもまず無い。それは私が訪れたことがある他の外国も同様で、町中が自転車であふれかえって、これほどまでに社会問題となっている東京がますます変に思える。

道路構造について。車線が複数あるのは当然だが、面白いのは片側4車線だとすると、中央分離帯だけでなく、その4車線内にも2車線と2車線を分ける分離帯があり、それぞれに木々などが植えられている。だから、一本の太い道路が、どれだけ太い道路なのか、なんとなく想像できるだろう。

車は当たり前のように歩道に駐車されている。駐車違反と言うことはない。そもそも余裕を持って道路建設がされているので「車は外側の車道に停めるもの」という当たり前のことが実現されている。これはベルリンでも同じような状況だった。

「車を外側の車道に停めると駐車違反」となる日本の現状の方がどれだけ異常なのか、つくづくそう思う。本当に日本の道路は狭すぎる。余裕がない。

あとメキシコは、日本と違って車優先社会だと習った。タイも同様に車優先社会だった。歩行者優先の日本と外国は違うのだ。そうすると、それだけ車線が太い道路を歩行者はどのようにして道路を横断するのだろうか。

町中で歩行者も多い道路では、横断歩道のような場所が各地にある。

横断歩道と言っても、道路に対して垂直な白線が引いてあるわけではない。自動車の一時停止をうながすような小山の段差を設けることによって、その小山の上の平らな部分を歩行者が歩道として歩けるようになっている。歩行者がその場に立てば、自動車は自然と段差の前で減速するので、歩行者は自然と通行できるように配慮されている。

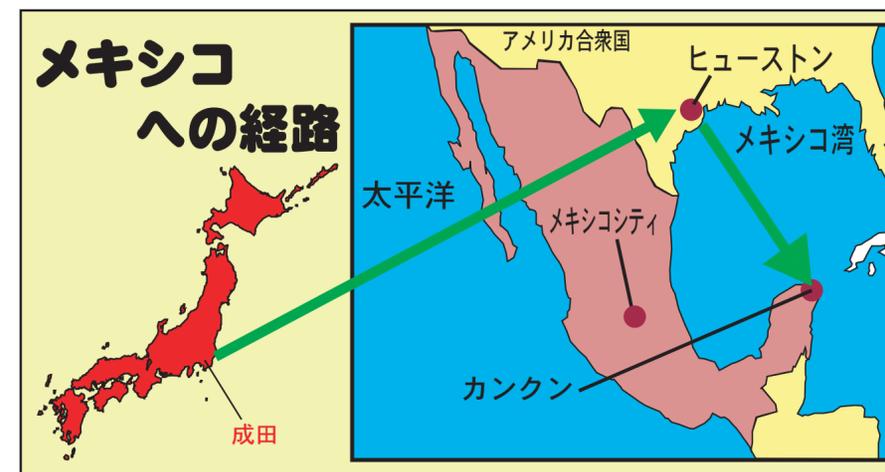
ただし、この横断歩道に信号機はない。それだけでなく、メキシコの道路には、ほとんど信号がない。大きな交差点ですら、ロータリー交差点になっていて、止まることなく車が走れるようになっている場所もある。

バスについて。バスはR1~R19のように、ROOという形で路線が決められている。その表示はフロントガラスにペンキで直に描かれており、一つのバスがいくつもの路線を走ると言うことはまず考えられない。通常は4.5ペソ(約45円)だが、ホテルゾーンというリゾートホテル地域へ行くバスだけは、6.5ペソ(約65円)の料金となる。それにメキシコのバスが変わっているのは、路線ならば、どこでバスを止めて乗っても構わないし、どこでバスを降りても良いということだ。わざわざ路線外を走ることはないが、タクシーのようにどこでも止まってくれるので、利用者にとっては使いやすい方法である。非常に融通が利く運行方法である。

日本は歩行者優先社会であるから、それは立派な考えではあるとは思いますが、もう少し諸外国の道路事情を見習って、車にとっても都合がよい道路造りと運営を心がけても良いだろう。

あらためて言うまでもなく、過密都市から人間と車を減らして、ゆとりある空間と時間を作り出すのが、私の政治的主張となっている。

そのためにも、もっと日本とは違う道路事情について、諸外国の事情を知ることは重要なことだ。



そもそもメキシコの道路には信号が少ない。その数少ない信号にしてもご覧の通り、曲がって設置されたりもしている。



中央分離帯には、当たり前のように駐車スペースが設けられている。(真ん中の車にナンバープレートが無いことに注目)



メキシコでは、ナンバープレートがついていない車が時々堂々と町中を走っている。日本ではとても信じられない。

ビデオ上映会

6月25日(土) 9:30~12:00

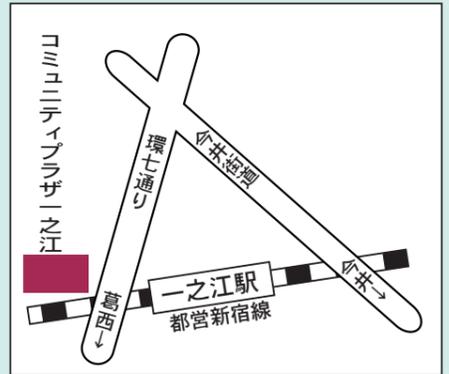
コミュニティプラザ一之江 第1集会室

江戸川区一之江 7-35-29 都営新宿線一之江駅環七口一富ビル4

☎ 03-3651-1261

高速道路の無料化運動に関するニュースを上映します。それを見終わったあと、高速道路問題についてのフリートークを行います。

参加費 無料



ビデオ上映会

10月2日(日) 14:00~17:00

小松川さくらホール 第3集会室 参加費無料

江戸川クラブ ☎ 03-5662-7755 E-mail: club@t-ken.jp

イベント報告 5/14(日) 対話集会 小松川さくらホール 参加者2名

田中けんの写真日記 4/29(金)

GWを利用して、スペインのマドリッドへ行ってきました。そこでスペイン語を習ってきました。まるで中学一年生が、初めて英語の授業を受けるような気分でした。スクールは少人数クラスによる運営です。このことから語学は少人数制で行った方が絶対の良いと思いました。

今、教育をめぐる議論では、30人学級のことなどが話題に上りますが、こと語学に関しては、30人でも多いと思います。

議員を含めて教育の議論をしている大人たちはみんな、自分たちが中学一年生の時に習った英語で苦労したことをまるで忘れてしまったようです。

やはり、いま現在行われている1クラス40人学級では無理があります。内容がわからないまま進められてしまう授業に出席し続けることがどれだけ苦痛なことか。中学校の英語に関しては、生徒10人以下の

クラスでじっくり、しっかり、みっちり連続して授業を受けられる環境が作れると良いですね。

ちなみに写真に写っている人を紹介します。

私の隣が、スペイン語教師のターニャ(スペイン)。その隣が、ルフトハンザ航空に勤めるアンヘラ(ドイツ)。その隣が、弁護士のマイケル(イギリス)。

できれば、このぐらいの人数で、語学とは勉強すべきものなのでしょう。

これが中学・高校・大学と、英語の成績がとても悪くて苦労した私の意見です。



読者が5のお便り

増え続けるフリーターは将来のホームレスになる可能性が大なのです。次に気になったのは鉄道のバスが24時間営業です。ここから何が生まれるか考えてください。まず今以上に眠らない若者や子どもたちが増え学校での授業中の居眠りや夜遊びで犯罪が増加するでしょう。その結果、電力アップで省エネにも反しますし、都市の魅力で人口も増える原因にもなります。ですから、鉄道・バスの24時間営業には反対です。

◆月刊四〜五月号分を読ませていただきました。実に内容が充実していて、同感したり勉強させられたり、これは意見が違うと思ったりの連続でした。先生ほど真面目で努力家で全てを政治に全力を注いでいる議員の方は他に存在しないのではないのでしょうか。お金の無い話、少し工夫して、例えば月刊紙を二、三ヶ月にまとめて一回にするとか、会員を月刊紙で募集して年会費を出してもらい百人で三千万円でも三千万円にはなりません。あるいは献金制度にしたり、月刊紙の愛読者に年額有料で配布したり、他にもまだまだあるでしょう。是非とも考えてください。区長に対する質問は常に鋭く核心を突いています。喫煙問題も私の重大な関心の一つです。頑張ってください。他の議員方は喫煙者の票が欲しくて何も言えないのでしょうか。ホームレスの問題です。昔、彼らを働かせていた経験から言えば、彼らは概して怠け者が多く、束縛されるのを嫌います。だから気の利いた人はテント生活や小屋を建て、コンビニ等の賞味切れやゴミ置き場から衣料をとるなどして、不自由なく生活できるのです。バッテリーでテレビまで設置している人、ペットも飼っている人もいます。彼らはリストラされた人、借金で逃げてきた人、その他さまざまです。この人々を救うのは、やはり行政しかありません。先生は人間として彼らを平等に見て、テント生活を認めているように感じました。しかし、先生の考え方は違い、私はテント生活を放置しておくのは反対です。本当に深刻な問題と考えます。

高速道路を無料にしよう！ 禁煙を徹底しよう！ 都市人口を減らそう！



江戸川区議会議員

田中けん

自宅事務所

〒132-0021 江戸川区中央4-25-14

電話 03-5662-7755

E-mail info@t-ken.jp

プロフィール

- 1966年 江戸川生まれ/松江三中卒 墨田川高校卒 千葉大教育学部卒
- 1995年4月 江戸川区議会議員選挙当選 (2,789票・41位)
- 1999年4月 江戸川区議会議員選挙当選 (4,282票・16位)
- 2001年6月 東京都議会議員選挙落選 (12,394票・8位)
- 2003年4月 江戸川区議会議員選挙当選 (4,103票・15位)
- ホームヘルパー、タイ式マッサージ上級課程修了、江戸川トライアスロン連合会長

ホームページからは、田中けんがテレビ出演したときの映像を、動画にてご覧いただけます。 www.t-ken.jp